

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



<「12/9-10 行事から」>

12月学生実習が中止となり生徒主体の2日間行事の一こまです。
・初日: やってみる科発表、コンサート他
・2日目: 初日に続く生徒授業、入学のつどい、午後レクで盛り上がリ。
(写真は全員ではないですが・・)

INDEX

P1: 巻頭言
P2: ヒューマントラスト/諸活動
p3: ↓会費納入、学校設立他
p4-5: スタッフの新年メッセージ
p6-7: 12月行事/中学・初等
p8: エッセー、カレンダー、後記
[チラシ、案内他]

まおい学びのさと小学校：道審議会にて「計画了承」！

～ともに“新たな自由と協同の学び舎”づくり！～
《夜明けのうた》は「00の後にやってくる・夢を見る人はドリーマー…」》

認定NPO法人・常勤理事会

‘20年11月30日、北海道私学審議会において標記案件が承認されました。3年前に申請して3回目にしての到達となります。今回「小学校」申請を先行し、1年後の‘22年秋に「学校法人」申請認可と所定の準備を整えていけば、‘23年4月に新規小学校が開校となります。

ここに至るまで、昨年に法人化した「NPO まおい学びのさと」理事会・会員の労苦は大変なものでした。現地の町民・農民達や近郊・道央の住民と札幌圏メンバーは、何回もの書類整備・現地イベント・資金形成を重ねてきて、ようやく第一段階のクリアを成したのです。

顧みれば、自由が丘の夕張実践より25年、80年代に「新しい教育・学校をすすめる会」を始めて以来35年となります。創始期の故鈴木秀一さん達が掲げた、“子ども達が主人公＝学び成長する主体の人間形成的教育”は、初期の中学校試行「プレスクール」とその後「月寒スクール」実践を土台にしなが、西日本で先行する「きのくに子どもの村学園*」を参考とする初等教育/法人化のカウンタダウンに入ります。注*:30年前に和歌山県で開校。福井山梨福岡長崎で小中学校+本体で高等専修学校を展開中。

とは言え、開校までの第二段階が正念場です。特定スポンサーに拠らず、多くの市民の協同による《市民立》型の学校は、何より母体財産となる資金形成が開校及び以降の安定経営の鍵となります。基本となる事業計画は人件費・物件費ともにギリギリであり、既存校舎整備補修やスクールバス・給食等の費用も必須です。秋の学校法人化への本年分+開校初年度分資金は先進者の拠出や予約に頼っており、これを更に広範囲に拡げていかねばなりません。北海道発の“新たな自由と協同の学び舎”づくりに、皆さんの可能なお力添えをお願いしながら新年のご挨拶と致します。